

研究機関：広島大学

研究課題名	広島大学形成外科における遊離組織移植術，遊離複合組織移植術を用いた再建手術例の検討
研究責任者名	広島大学病院国際リンパ浮腫治療学講座 寄付講座教授 光嶋 勲
研究期間	2022年11月1日(倫理委員会承認後)～2032年9月30日
対象者	2016年4月から2031年12月の間に、広島大学病院形成外科で血管柄付き遊離組織移植術，遊離複合組織移植術による治療を受けられた患者さん。
意義・目的	血管柄付き遊離組織移植術，遊離複合組織移植術の安全性については，95%以上の生着率が明らかになっていますが，生着後の機能・形態の詳細についてはまだ解明されていません。今回，当院で遊離組織移植術，遊離複合組織移植術を行った患者様の結果を解析する事で，より安全で確実な今後に役立つ方法を明らかにするため，この研究を計画しました。
方法	本研究は，診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は年齢，性別，既往疾患，BMI，採血データ，疾患の種類・罹患部位，悪性の場合は病期分類，担当診療科，再建した欠損の種類・サイズ，移植組織の種類・サイズ，移植床血管の種類，血管吻合の方法，術後血管吻合トラブルの有無，手術時間，術中出血量，移植組織の阻血時間，術後皮弁壊死の有無と予後，術後局所合併症の有無と予後，術後機能，術後形態，患者満足度，悪性疾患の場合は周術期治療および予後情報です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学病院国際リンパ浮腫治療学講座 寄付講座教授 光嶋 勲
個人情報の保護について	調査内容につきましては，プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり，第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel：082-257-5851 広島大学病院形成外科 助教 永松将吾